



令和6年(2024年)7月25日付けプレスリリースの『申請者区分別』の表に誤りがありましたので、訂正しました。

訂正版

しあわせ信州

長野県(南信州地域振興局)プレスリリース 令和6年(2024年)7月25日

令和6年度地域発元気づくり支援金(2次募集) 【南信州地域】8事業を採択事業として選定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、選定会議構成員の意見を参考に、採択事業を選定しました。

(単位:千円)

事業区分別

事業区分	内定状況	
	件数	支援額
1 地域協働の推進	1	1,702
2 保健、医療、福祉の充実	0	0
3 教育、文化の振興	1	1,382
4 安全・安心な地域づくり	1	1,117
5 環境保全・景観形成	1	611
6 産業振興、雇用拡大(小計)	4	7,056
ア 特色ある観光地づくり	2	4,078
イ 農業の振興と農山村づくり	2	2,978
ウ 森林づくりと林業の振興	0	0
エ 商業の振興	0	0
オ その他	0	0
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	0	0
合計	8	11,868

重点的に推進するテーマ別

重点テーマ区分		件数	支援額
県	女性・若者に選ばれる県づくり	0	0
	2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	0	0
南信州地域	移住・定住、つながり人口づくりの促進	3	4,660
	伝統文化の継承	0	0
	地域の特色ある産業の振興	1	1,378
	地域の強みを活かした観光の推進	2	4,102
	森林資源の利活用の推進	1	611
合計		7	10,751

申請者区分別

申請者区分	件数	支援額
市町村	3	4,177
広域連合・一部事務組合	1	2,720
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	4	4,971
合計	8	11,868

- 当地域では、16件の申請(要望額20,251,000円)がありました。
- 選定した事業については、より効果的に実施していただけるよう適切な助言をしております。



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

(問合せ先)

南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課
(課長)保科 (担当)勝股
電話 0265-53-0401(直通)
0265-23-1111(代表)内線2315
FAX 0265-53-0404
E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和6年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表（2次募集）

単位：千円

事業区分	ソフト・ハード	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点 テーマ 区分
1 地域協働の推進に関する事業	ソフト・ハード	根羽村	空き家を活用したコミュニティ拠点整備事業	空き家を改修・DIYし、空き家相談窓口（シラネバ）や根羽村の情報発信の場として整備する。DIYは地域内外から参加者を募り、つながり人口創出イベントとして実施する。あわせて改修後は住民によるイベント利用やお試してショップ展開できる場所としても利用してもらうことを考えており、様々な人が集まる新しいコミュニティ形成のきっかけとする。 ①デザイン・広報費用 ②空き家改修費用	2,387	1,798	1,702	移住・定住、つながり人口づくりの促進
3 教育、文化の振興に関する事業	ソフト・ハード	福沢自治会	円満坊を中心とした福沢地区文化財振興事業	松川町生田福与区福沢に所在する円満坊は仏像を安置しているとともに、桜の名所としても知られ、地域の憩いの場となっている。この一帯を地域外からも人が訪れる観光名所としていくため、老朽化して危険なお堂の建て替えをし環境整備活動を行う。あわせて文化財を中心とした地域マップを作成し、地域住民にガイドがつとめるガイドツアーを開催して円満坊一帯を知っていただく機会とする。また、円満坊の歴史についての講演会を開催する。 ①講師謝礼、マップ印刷費 ②十一面観音堂の建て替え費用	1,841	1,382	1,382	地域の強みを活かした観光の推進
4 安全・安心な地域づくりに関する事業	ソフト	飯田市	水害・土砂災害から生命を守る	令和5年度は、地域住民等が参加してダンボールジオラマを作成し、地域の災害や危険箇所を地形と併せて確認する取組を実施したが、今年度は別のモデル地区を設定し、新たにダンボールジオラマを作成するとともに、このジオラマを用いてまち歩きによる防災フィールドワークの実施や、危険箇所の現地確認や避難等に役立つ地域資源の発掘を行い、その結果をシートにまとめて地域内で共有する。あわせて、地域の地形や地質を科学的に分析した3D立体図を用いて、地域の災害特性を学ぶ学習会を開催することで、災害の知識を高める。 ①ダンボールジオラマキット、ワークショップ運営費、マップ制作費、検討会運営費	1,490	1,117	1,117	
5 環境保全、景観形成に関する事業	ソフト・ハード	竹林活用プロジェクトCHIKURIN	竹林活用プロジェクト	放置竹林の整備・景観維持を図りながら竹を活用して地域の繋がりを深める事業を実施 ・地域住民に対し、竹林整備・メンマに関する講演会を開催 ・地域の親子に竹細工・竹遊びを教え、竹に関心を持ってもらうイベントを開催 ・地域の放置竹林を伐採し、チップやパウダーを生産 令和6年度は新たに、生産した竹チップ・パウダー・ペレットの販売を開始する。販売にあたっては地域の障がい者施設へ袋詰め作業を委託し、農福連携を行う。また、将来的に大きな受注販売を可能とするため、地域の竹林整備を行う他団体とのネットワークづくりや地域おこしに取り組む団体とのネットワークづくりを行う。 ①講師謝礼、桃太郎旗購入費、チラシ作成・印刷費、作業用工具購入費 ②竹ペレット製造機購入費	797	611	611	森林資源の利活用の推進
6 産業振興、雇用拡大に関する事業（ア 特色ある観光地づくり）	ソフト	売木村	三遠南信広域連携プロジェクトVol.2～売木村と浜松をつなぐ～	関係人口創出のため、売木村の立地や環境を最大限に生かし、都市と地域をつなげる地域間交流を促進する。また、都市と地域をつなげ地域間交流を促進することで、一つの地域だけでは打破できない課題を解決し、両地域とって相乗効果を生み出すことを目的とする。 ・浜松市を中心に全国から参加者を募集し、四季折々の売木村ワークショップツアーを実施 ・浜松の中心市街地で売木村特産品PRや収穫したホップを使った地ビールのお披露目等のイベントを実施。 令和6年度は前回できなかった夏期ならではの、ワークショップツアー（トウモロコシやホップの収穫や稲刈り体験）を実施し、ワークショップの回数も増やすことで、さらなるつながり人口創出を目指す。 ①企画委託料、講師謝礼、燃料代、会場使用料、機械レンタル料、保険料	1,698	1,358	1,358	移住・定住、つながり人口づくりの促進
6 産業振興、雇用拡大に関する事業（ア 特色ある観光地づくり）	ソフト	南信州広域連合	新中日ビルを活用した南信州地域のPRイベント	名古屋に新たにオープンしたランドマーク「新中日ビル」のイベントスペースにて、南信州地域のプロモーションイベントを行い、南信州地域の認知度向上を図る。リニア中央新幹線開業を見据えて、周遊滞在型観光を促進し、中京圏からの訪問者増加をねらう。プロモーションイベントでは、地域の事業者による特産品の物産展、特産品の代理販売、民俗芸能上演、移住候補地としてのPR、観光情報発信等を予定。 ①イベント運営委託費、会場設営委託費	3,472	2,720	2,720	地域の強みを活かした観光の推進
6 産業振興、雇用拡大に関する事業（イ 農業の振興と農山村づくり）	ソフト	南信州伝統野菜協議会	「南信州ファーマーズマーケット」事業	「伝統野菜の大衆化」を目指し、飯田市内で「南信州ファーマーズマーケット」と名付けた、地元青果及び伝統野菜の販売とそれを使用した調理品の販売を行う。住民が購入者と交流しながら直接商品の説明を行い、販売にあたる。また、開催にあたっては、下伊那農業高校や東京農業大学の学生と野菜の作付けやレシピ開発を一緒に行う。 今後は年4回程度、定期的に「南信州ファーマーズマーケット」を開催し、伝統野菜の認知度向上や消費拡大を目指す。 ①運営費、会場費、テント等備品費、 広告・宣伝費、チラシデザイン費	2,418	1,378	1,378	地域の特色ある産業の振興
6 産業振興、雇用拡大に関する事業（イ 農業の振興と農山村づくり）	ハード	向方水路組合	限界集落に対応した農業用水路点検簡略化事業	現在の農業用水路は維持や見回り作業が困難なものであり、このままでは高齢化が進んだ地域での水田維持が危ぶまれるため、新しい農業用水路を建設する。建設にあたっては主に工事事業者へ発注するが、できる箇所は住民と地域のつながり人口が一緒になって作業を行うことで、地域課題解決と同時につながり人口の定着をはかる。建設後、作業に関わってくれた方を中心に地域外へ募集をかけ、農業体験を行うことで、地域への愛着をより深めてもらう機会とする。その他、地域のお祭り行事等にも参加募集を行い、つながり人口の拡大をはかる。 ②水路建設費	2,134	1,600	1,600	移住・定住、つながり人口づくりの促進